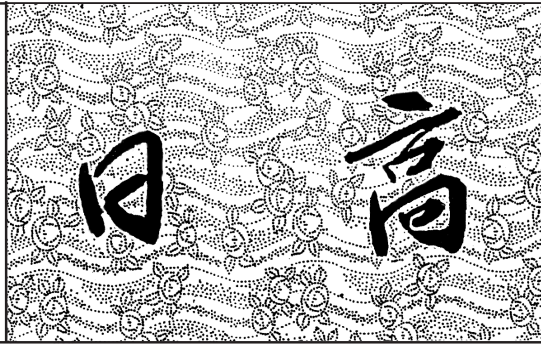


日高地区概況

令和7年1月1日現在
 世帯数 9,220
 人口 20,765
 男 10,128
 女 10,637

※この概要は日高支所管内の統計による



第222号

発行日 令和7年1月20日
 発行 日高学区市民自治会
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>
 代表者 志賀 勝 弘
 編集責任者 田 所 剛
 印刷 お ぎ つ 印 刷

平穏な1年でありますように



南静公園からの初日の出

太平洋の水平線から太陽が顔を出し、令和7年がのどかに明けました。日高学区の皆様それぞれが平穏な素晴らしい年となりますように、お祈り申し上げます。また、日高学区市民自治会の活動に、ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

日高学区新春初顔合わせ会が1月11日、日高交流センターで開かれました。志賀勝弘市民自治会会長から「昨年の能登地震や集中豪雨、そして強盗被害等の犯罪が多発する中、コミュニティ、地域のつながりがますます必要になってきている。その不安を解消したいとの思いでこの会を催した。皆様が見え出し合い協力することが必要で



会長挨拶

あり、自治会としてもお役に立てるようにしたい。」との開会挨拶があり、その後、来賓の松本正生日立市保健福祉部長、添田絹代地元市議から挨拶をいただいた後、約100名の参加者による歓談が行われました。初笑い抽選会では、高齢者クラブ連合会幹事の畑中仁さんが大賞に当選し万歳三唱で閉会となりました。参加者による今年の抱負五月女五美枝さん新しいことではなく無理なく今までどおり民話の会を続けていきたい。原田千代子さんへびのように、のらりくらりまったり行きたいです。藤田博美さん趣味のゴルフの練習を重ね、スコア80をきりたい。

令和七年新春初顔合わせ 穏やかな年を願って



新年の賀詞交換をする参加者

小野俊郎さん 何事も一生懸命できる体力維持をし、地域貢献と平穏な日々を送りたい。
 三田信治さん 還暦を迎えた今、健康に留意して遊びたい。
 遠田正樹さん 「ひたか応援隊」の活動と趣味の釣りで、息子と一緒に大物を釣りたい。
 根本東洋男さん

「ひたか応援隊」の活動と趣味の釣りで、息子と一緒に大物を釣りたい。
 根本東洋男さん



大賞を射止めた畑中仁さんによる万歳三唱

元気に花、樹木、みつばちを育て自然と供に生きたい。
 中條広美さん 健康に留意して好きなゴルフでいつも85をきりたい。
 志賀隆良さん 明るく健康に毎日を過ごしていきたい。
 前野房三さん 1年1年を充実させていきたい。

日高ふれあい鳥追い祭り 多くの人が出で賑わう



今年一年の無病息災を願う炎

今年で31回目を迎える「日高ふれあい鳥追い祭り」が1月13日に日高交流センターで開催されました。今年度は穏やかな天気にも恵まれ、朝早くから中学生が加わり会場づくりが進みましました。無料で甘酒が振る舞われるなか、好評のトン汁やお汁粉、福祉作業所の製品等も販売され、千人を超える来場者で賑わいました。メインイベントのどんど焼きでは、一年の無

行事予定

- 日高学区市民自治会
- 再生資源拠点回収 1月26日(日)
- 2月23日(日)
- 時間 8時半〜11時まで
- 日高交流センター
- クリンアップデー 2月9日(日)
- 日高学区内全域
- 「東連津川をきれいにする会」の清掃実施
- 2月9日(日)
- 手作りみそ教室 2月13日(木)
- 日高交流センター
- 福祉委員会健康講座 「認知症予防講話」 2月21日(金)
- 時間13時半〜15時まで
- 日高交流センター
- 日高文化協会
- 文化講演会 2月23日(日)
- 日高交流センター

役員会報告

12月20日の本・支部役員会で次の事項について協議しました。
 ＊わら細工教室
 ＊新春初顔合わせ会
 ＊日高ふれあい鳥追い祭り
 ＊手作りみそ教室

年末恒例の交流センター大掃除 きれいになりました



説明を聞く参加者

昨年12月14日に年末恒例の日高交流センターの大掃除を実施しました。当日は晴天で絶好の掃除日和となりました。

集合時刻の9時前には交流センター利用団体や本部役員有志等あわせて28団体、約100人の参加者が来場し、受付で名前の確認と重手の支給を受けた後、2階会議室に集まりました。志賀交流センター運営委員長の挨拶に続いて掃除作業の説明と注意点が説明され、その後、各自の担当として指定された区分体育館の屋内と屋外、交流センター



エアコンもきれいに

1の1階と2階、日高支所に向かいました。そこで具体的な説明を受けて作業を開始しました。日高からはバスケットボール部の生徒たちも参加し、男子は体育館屋内を担当し、普段手の届かない場所などを率先して清掃していました。一方、女子は体育館前の駐車場と外溝を担当し、積もった落葉や泥をきれいに掻き出していました。

普段、交流センターを利用している団体の皆さんもそれぞれ割り当てられた場所、一年間にたまった汚

れやほこりを一生懸命にきれいにしていました。一部には、花壇回りなどの草引きの担当もありました。作業は順調に進み、予定通り、約1時間半で終了しました。最後は全員が最初集合場所に集まり協力感謝の挨拶をうけた後、解散となりました。参加者には、お茶と酒饅頭が配られてま



泥と葉っぱを除いて

皇居と靖国神社参拝

神社内の小木津石を探しに

日高学区市民自治会の役員幹事の研修旅行が12月8日、靖国神社参拝と皇居散策と新しくオープンした豊洲市場の見学を32名が参加し実施されました。靖国神社は明治維新以降の戦争で亡くなられた英霊を祀る神社で、参加者の中には先の大戦で亡くなられた遺族の御霊に対して深々と頭を垂れる姿もありました。神社内の庭園の池には全国から集められた石の中に東連津川流域の小木津石も使われているということ、探しましたが表示もなく石の確認はできませんでしたが、それらしい石は何個か見ることはできました。



靖国神社大鳥居前にて

皇居散策では中学校時代の修学旅行以来という人もいて、車中の修学旅行の思い出話に花が咲きました。2月にオープンした豊洲市場の「千客万来」ではインバウンドの外国人の多さに驚きの声しきりでした。車中では不参加者等からの差し入れの飲み物で楽しく交流を深めました。

春を迎える

千支「巳」を折る

日高学区市民自治会健康推進部では、12月12日日高交流センターで折り紙講師の朝日正子先生をお迎えして、来年の千支「巳」を折る「折り紙教室」を開催し、



幸せな「巳年」をつかもう

16名が参加しました。作品は春を迎える「巳」と幸運を引き寄せる「七回半の蛇」でした。参加者は折り方の図解や先生の説明を聞きながら折り始めました。しかし、複雑な山折り、谷折りがうまくいかない様子で、参加者どうし教え合い、また先生の手を借り、頭をもたげた蛇を完成させていました。

小さな輪 大きな輪

切り絵 自主グループ「ゆりの樹」



先日3世代文化祭で黒と白黒と原色の鮮やかなコントラストが目をつけた「切り絵」。

まるで機械で切ったような滑らかな、でも繊細な線が心にも留まりました。

「ゆりの樹」は関根勘次先生が切り絵の歴史から技術まで丁寧に教えてくださっています。

切り絵は昔はハサミで切って制作していたそうですが、今は専用のカッターを使って切り出しているそう。コツは、紙をカッターの歯が入れやすいように方向を変えながら切る事。

会のみなさんは、ほんの微細なブレもないよう、神経を研ぎ澄まして集中して作品に向き合っていました。「切り終わった時の達成感と次回をもっと綺麗にという思いがありとっても楽しい」そうです。

未経験者でも優しい図案から始められますし、図案集を見るのも楽しいのではないのでしょうか。夜は寒く長い季節。自宅でも省スペースで楽しめる「切り絵」に挑戦してみたいかでしょうか。

活動は、第1、第3土曜日10:00~12:00に行っています。(菊池理可子)



支部役員改選の準備を

2月末に新名簿提出

各支部・町内会では、令和7年度の支部役員(支部長、副支部長、常任委員、自治委員)の改選や引継ぎの準備を進めて下さい。規約では支部長任期は、2年(再任も可)となっております。

1月の本会役員会で詳細を説明し、2月末までに現在の支部長に、新名簿のまとめと提出をお願いする予定です。

クリスマス会を楽しむ 介護予防にこにこクラブ

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、介護サービスを受けていない65歳以上の高齢者を対象に、介護予防支援のこにこクラブ



的をめざしてエイッ

を開催しています。毎月第2・第4水曜日の午前10時から日高交流センター2階で活動し、現在の会員数は22名、ボランティア協力者は11名です。

12月25日は、クリスマス会が盛り上がりました。会場内はツリーが飾られ、クリスマスソングが流れています。

いつものように、看護師による血圧測定などの健康チェックを受けた後、脳トレやストレッチ体操で体を

「フードBOXまんぶく」 支援の輪が広がっています

令和6年9月、日高交流センターに設置した「フードBOXまんぶく」には、「役立てて下さい」と笑顔で持参する常連さんをはじめたくさんの方から優しさの詰まった食品が届いています。

寄せられた食品は、日立市社会福祉協議会を経由し、市内の支援を必要とする方に届けられます。腹が減っ



交流センターにあります

ては戦ができぬと昔から言われていますが、心と身体を整えてから「一緒に考えていきましょう」と要支援者に寄り添い支援しているそうです。

日高学区社会福祉委員会では、困っている方が笑顔になれるよう、これからも「フードBOXまんぶく」を継続していきますので、皆さまのご協力をお願い致します。

【ご寄付願いたい食品例】

お米、インスタント食品、乾麺、缶詰、お菓子、調味料など

※未開封、常温保存、賞味期限が2ヶ月以上残っている食品をご提供ください。

お問い合わせは

日高交流センター内

社会福祉委員会

☎43-1250

ほぐしました。恒例のゲームはチーム戦で大きな笑い声が響き、後半のハンドベルやきよしこの夜の合唱ではさらに盛り上がりました。

また、「急激な温度変化によるヒートショックや感染症に気を付けて過ごし、年明け元気に活動しましょう」と看護師の声掛けがありました。

帰りの際はクリスマススブレゼントも忘れずに、皆さん笑顔で帰宅しました。

こにこクラブは随時会員募集をしていますので、お気軽にお問い合わせください。
☎43-1250

赤い羽根募金

大口奉仕者芳名

(敬称略・順不同)

永井ひたちの森病院永井直規・茨城県信用組合日高支店・宇佐美吉郎・南大高工務店・志賀勝弘・柳茨城環境企業・斉藤金四郎・石堂徳明・志賀啓行・エイチシーネットワークス・見城美智子・宇佐美寿郎・豊田清明・木田金房・三秀建設工業・榎村守・下平優・見城智恵子・矢部一良・南大森商店・海老沢清・岩間恵美子・志賀信夫・青木正・石井慶昭・小澤邦子・神永由美子・肥田順子
募金は日立市の地域福祉活動や高齢者・体の不自由な方々への福祉サービス事業、県内の福祉団体・施設、被災地の支援等に有効活用されます。

新しい年に 願いを込めて

日高交流センター正面入り口に、今年も市民自治会有志によるジャンボ門松が作られました。

12月24日、市民自治会志賀会長を中心に7名の有志が直径15センチ以上もある若竹を山から切り出し、布で磨き、縁起の3,5,7の荒縄縛りをして松と笹としめ縄飾りを付け、2時間半をかけ一対の大門松を作り上げました。

ジャンボ門松は平成17年の公民館時代から、地元のご鈴木広さんの指導で志賀



完成したジャンボ門松をバックに

会長、海老沢清さん、宇佐美吉郎さんらが作り始め、今年で20年目を迎えます。製作に携わったメンバーは竹の切り方や縁起縛り、荒縄の巻き方などを体験しながら作り方の伝承と新しい年に思いや願いを込めて額に汗を流していました。

詐欺や犯罪にご用心

防犯対策を徹底しましょう

昨年、詐欺行為を働こうとした犯人が小木津駅で逮捕されました。日高学区にも犯罪の手が及びようとしています。防犯対策を紹介しましょう。

・二七電話詐欺
留守番電話の設定で不審電話をシャットアウト。

・住宅の窃盗
雨戸を閉める、補助カギ、防犯フィルムが効果的。無

施錠やガラスやぶりの被害が住宅窃盗の約半数。夜間でも電気を点けておく、センサーライトも効果的です。

・歩行中の事故対策
反射材を身に着ける。茨

城県の令和5年の夜間歩行者の死者25人のうち、反射

材を付けていた人は0人です。

・SNSなどの詐欺
投資、結婚などの話は詐欺。LINEを悪用した詐欺も増加。友達以外のメッセージの受信拒否も有効です。

・金属などの泥棒
ケーブル、水田のバルブ、側溝ふたなどの窃盗が増えています。泥棒は下見をします。不審者や不審車両を見たら110番通報を。

その電話、詐欺につき注意

留守番電話設定に

住宅への強盗事件多発

補助錠、アラームなどを付けましょう

北部消防署庁舎の 建て替え工事進行中

日高学区市民自治会広報部では、日高小学校南側ゆりの木通り沿いに建設工事の北部消防署庁舎の概要について、消防本部に問合せ、その回答を得ました。

まず、建て替えの理由は現在の庁舎が築48年を経過し老朽化が著しく、旧耐震基準であるため、心配される大地震をはじめとした各種災害の対応に万全を期するとのことでした。

次に、その広さですが現庁舎と比べて、敷地面積で約2・7倍、庁舎延床面積で3倍の計画だそうです。

最後に、この建て替えに際して次の5点をグレードアップすると教えてくれました。

①職員技術向上を図るための訓練塔②省エネに加え、災害時の補助電源としての太陽光発電設備、蓄電池③敷地内から流出する雨量をコントロールする雨水貯留槽④井戸設備⑤災害用汚水槽

令和7年度末予定の完成が待たれます。



建設中の北部消防署庁舎

わら細工に心を込めて

おだやかな一年に



参加者は皆真剣です

冬至も過ぎ、寒さが厳しさを増した暮れの22日に交流センターで恒例のわら細工教室が市民自治会の主催で開催し、約20名が参加しました。同日は、地元の小野俊郎さんから提供された稲わら、木田勝壽さんからのゆずり葉、そして事務局が用意したしめ飾り用の紙垂(しで)等のお飾りが用意され、志賀会長の指導のもと、会議室に敷き詰められたブルーシートとゴザの上に



わらはこうして編むんだぞ

陣取り、真ん中に座った小野榮子さんの実技実演を取り囲むように作業を行いました。参加者の多くはわらを扱うことになっておらず、四苦八苦していました。1時間半もすると、それなりの形に仕上がりました。多少形が悪くても、自分で作ったしめ飾りで新年を迎えることができる満足し会場を後にされました。

あの人 この人

日高町
矢部一良さん
(72歳)



地域へお返ししたい

「教員時代に民生委員の方にお世話になったことへのお返しです」そうやって現在、日高学区市民自治会の副会長や日高地区民生委員・児童委員協議会の副会長の重要な役割を担い、種々の事業に会長の補佐役としてリーダーシップを取る矢部さんをご紹介します。お住まいは交流センターのすぐ近くで、今は奥様と

2人暮らしです。数年前までは、愛犬「まりちゃん」を連れて散歩したりドッグランに出掛けたりする姿をよく目にしましたが、その愛犬も寿命を迎えてしまっただそうです。また、世の中の動向にも関心が高く「電気自動車」を愛用されています。趣味を伺いますと、以前は、青空の下でのゴルフを

楽しんでいました。腰を痛めて今は中断しているとのこと。一方で「家庭園芸」に興味を示し、庭先のバラ栽培等は手をかけた様子がよく分かります。年相応に病気もあるので、「食べ過ぎ、飲みすぎ」に気をつけることと、「早寝早起き」をして健康管理に心掛けていたと話していました。

最後に、矢部さんの会議での司会や説明は端的な表現であり、そのすばらしさを感じるものであります。にこやかに「地域にお返し」をモットーに自治会活動にあたる矢部さんのご活躍を期待します。(豊田賢一)



一の堰からの水路

ふるさと 郷土

ひたか (29)

一の堰(東連津川)

東連津川流域を岩本集落から遡ると、小木津山自然公園入口との分岐点より少し手前にコンクリートで造られた小さな堰がある。東連津川には現在使われていない堰を含めて18の堰がある。一ノ堰は寛保元年(一七四一年)水戸藩により流域の農業用水や生活用水の取り口として造られたもので、東連津川最上流の堰という意味で一ノ堰と呼ばれている。

堰からの水路は川岸の山間部を通り小木津地域を巡り太平洋にまで流れるようになってきている。地元で農業を営んでいる志賀国広さんにお伺いすると、最近では農業を営む人も少なく田植え前の堰上げという水路整備も数名になっ

東連津

私にとって昨年一番の出来事と言えば、無事に還暦を迎える事が出来たことです。

これも一重に家族や周りの皆さんのお陰だと感謝しております。さて、60歳になり心にも余裕が芽生えこれからの人生をどう生きて行こうかと考えた時、何も浮かばず、結局「健康が一番」に辿り着きました。

健康が一番

形は違えど日高学区も活気あふれる元気な街になつてもらいたいです。そんな街づくりのお役に立てるなら協力していきたいと思えます。

安良宿西支部
三田 信治

60歳になったからって急にアレがしたい！と出て来るはずも無く現状維持の結論になりました。そんな私が好きな事は年に数回行く東京巡りです。上野、浅草と下町散策、屋台をメインにはしご酒、あの活気が病みつきになり、自分自身の元気の源となつていきます。

茨城県小中学校芸術祭
日小・日中生が入賞
令和6年度の茨城県小中学校芸術祭において日高小

編集後記

2024年は正月から能登の地震があり長く暑い夏12月急に寒さが厳しくなつた体力的にも厳しい1年でした。

2025年は明るい話題が増える年である事を願い、澳津神社社にお参りしました。(菊池理可子)

- 日高中学校 絵画・デザイン部の
1年 村上 煌志
2年 鈴木 優
3年 小野 愛心
6年 福田 心太朗
6年 斉藤 明花